

令和5年度  
福島町議会  
定例会6月会議

令和5年6月21日（水）

諸般の報告  
(第1号)

福島町議会

## 1 提出された案件

### (1) 町長提出案件

- 議案第10号 こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 議案第11号 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第12号 福島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 議案第13号 第5次福島町総合計画の変更について
- 議案第14号 財産（インターネット系サーバ等）の取得について
- 議案第15号 支払督促の申立てに係る訴えの提起について
- 議案第16号 支払督促の申立てに係る訴えの提起について
- 議案第17号 令和5年度福島町一般会計補正予算（第3号）
- 議案第18号 令和4年度福島町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 議案第19号 令和4年度福島町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）
- 報告第1号 令和4年度福島町一般会計繰越明許費の報告について

### (2) 議会提出案件

- 発委第1号 福島町議会議員歳費・費用弁償等条例の一部を改正する条例
- 発委第2号 日本政府に核兵器禁止条約への参加、調印・批准を求める意見書の提出について
- 発委第3号 地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について
- 発委第4号 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充の実現に向けた意見書の提出について
- 発委第5号 道教委「これからの高校づくりに関する指針」の見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書の提出について
- 発委第6号 令和5年度北海道最低賃金改正等に関する意見書の提出について
- 発委第7号 ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書の提出について

## 2 町長・その他の執行機関から通知のあった説明員

町長	鳴海 清春	副町長	工藤 泰
総務課長	住吉 英之	企画課長	村田 洋臣
産業課長	福原 貴之	町民課長兼吉岡支所長兼会計管理者	深山 肇
認定こども園福島保育所園長	吉能 佳織	福祉課長	小鹿 浩二
建設課長	紙谷 一	福祉センター次長	(石岡 大志)
教育長	小野寺 則之	事務局長兼給食センター長	石岡 大志
農業委員会事務局長	(福原 貴之)	選挙管理委員会書記長	(住吉 英之)
監査委員	本庄屋 誠	監査委員	高田 重美
監査委員補助職員	(鍋谷 浩行)		

## 3 職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	鍋谷 浩行	議事係長	福井 理央
主任	角谷 里紗		

## 4 監査報告

- 6月8日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。(水道事業会計)
- 6月9日 監査委員から、会計例月検査結果の報告があった。
- 〔 一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、浄化槽整備特別会計、国民健康保険診療所特別会計 〕

## 5 福島町ふるさと応援基金の運用状況等の報告

- 6月6日 町長より、令和4年度福島町ふるさと応援基金の運用状況等の報告があった。

## 6 調査特別委員会の調査報告

- 6月15日 第6次福島町総合計画策定調査特別委員会から所管事務調査の中間報告があった。

## 7 休会中の所管事務調査の申し出

- 6月9日 総務教育常任委員会から休会中の所管事務調査等の申し出があった。
- 6月9日 経済福祉常任委員会から休会中の所管事務調査等の申し出があった。
- 6月9日 広報広聴常任委員会から休会中の所管事務調査等の申し出があった。
- 6月9日 議会運営委員会から休会中の所管事務調査等の申し出があった。

## 8 一部事務組合の報告

- 5月29日 平野隆雄議員から令和4年第1回渡島廃棄物処理広域連合議会臨時会の報告があった。

## 9 議会評価及び議員自己評価等

- 4月28日 令和4年度の議会評価を決定した。
- 4月28日 令和4年度議員の自己評価及び令和5年度議員活動の目標（公約）を集約した。（9人提出）

## 10 議会に関連した諸行事（令和5年度福島町議会定例会5月会議後、本日まで）

- 5月18日 議会運営委員会（定例会5月会議の反省）
- 22日 渡島総合開発期成会総会（函館市、議長）
- 22～24日 町村議会全国議長・副議長研修会（東京都、正副議長）
- 25日 渡島町村議会議長会役員会（函館市、議長）
- 26日 渡島西部四町議会議員連絡協議会理事会  
（知内町、正副議長・議会運営委員長）
- 〃 渡島廃棄物処理広域連合議会全員協議会（北斗市、副議長・関係議員）
- 〃 渡島廃棄物処理広域連合議会第1回臨時会（北斗市、副議長・関係議員）
- 6月3日 福島小学校運動会（議長ほか）
- 6日 経済福祉常任委員会（意見書採択、6月会議後の所管事務調査）
- 〃 第6次総合計画策定調査特別委員会
- 〃 総務教育常任委員会（意見書採択、6月会議後の所管事務調査）
- 8日 老人クラブ連合会総会（議長）
- 11日 福島消防団総合訓練大会（議長ほか）
- 12日 正副議長会議（定例会6月会議議案説明）
- 〃 福島町まちづくり工房通常社員総会
- 13日 定例会6月会議一般質問通告
- 〃 議会運営委員会（定例会6月会議の運営）
- 14日 渡島町村議会議長会臨時総会（札幌市、議長）
- 15日 北海道町村議会議長会定期総会（札幌市、議長）
- 19日 経済福祉常任委員会（意見書の採択）
- 〃 定例会6月会議に係る議員勉強会
- 〃 第6次総合計画策定調査特別委員会中間報告書手交（正副議長）
- 20日 宮城県仙南・亶理地方町議会議長会視察受入れ  
（正副議長・議会運営委員長）
- 21日 定例会6月会議

## 福島町ふるさと応援基金の運用状況等の報告

令和5年6月6日付け福企画号で、令和4年度福島町ふるさと応援基金の運用状況等の報告があったので、下記のとおり報告する。

令和5年6月21日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

### 記

- 1 令和4年度福島町ふるさと応援基金の運用状況等について

福島町ふるさと応援基金の運用状況等について

福島町ふるさと応援基金の令和4年度の運用状況等は、次のとおりです。

1 寄付金の内訳（令和5年3月31日現在）

事業の種類	件数	寄附金額 ①	条例第4条 第2項の指定額 ②	処分金額③		残 高 ①+②-③	
				条例第2条各号の 事業区分	条例第7条各号の 経費		
1. 産業の充実 及び整備に 関する事業	R3末	2,765件	39,111,466円	213,000円	179,000円	16,332,000円	22,813,466円
	R4	1,054件	14,771,902円	0円	0円	7,347,000円	7,424,902円
	累計	3,819件	53,883,368円	213,000円	179,000円	23,679,000円	30,238,368円
2. 生活環境の 整備及び健康 福祉の充実 に関する事業	R3末	1,239件	22,733,337円	0円	0円	7,615,000円	15,118,337円
	R4	678件	8,542,619円	0円	0円	4,213,000円	4,329,619円
	累計	1,917件	31,275,956円	0円	0円	11,828,000円	19,447,956円
3. 人材育成及 び文化の向上 に関する事業	R3末	1,125件	17,875,502円	0円	4,817,000円	6,734,000円	6,324,502円
	R4	775件	9,975,400円	0円	301,000円	4,629,000円	5,045,400円
	累計	1,900件	27,850,902円	0円	5,118,000円	11,363,000円	11,369,902円
4. コミュニ ティその他ま ちづくりに 関する事業	R3末	272件	3,956,200円	297,000円	396,000円	1,598,000円	2,259,200円
	R4	193件	2,518,732円	0円	0円	1,215,000円	1,303,732円
	累計	465件	6,474,932円	297,000円	396,000円	2,813,000円	3,562,932円
5. その他まち づくりのため に必要と認め られる事業	R3末	2,711件	48,991,907円	△ 510,000円	6,380,000円	15,859,000円	26,242,907円
	R4	1,486件	20,583,399円	0	0円	10,264,000円	10,319,399円
	累計	4,197件	69,575,306円	△ 510,000円	6,380,000円	26,123,000円	36,562,306円
合 計	R3末	8,112件 (8,041件)	132,668,412円	0円	11,772,000円	48,138,000円	72,758,412円
	R4	4,186件 (4,146件)	56,392,052円	0円	301,000円	27,668,000円	28,423,052円
	累計	12,298件 (12,187件)	189,060,464円	0円	12,073,000円	75,806,000円	101,181,464円

※1

※合計欄の()内は実際の寄付件数。ANAからの寄付は事業の種類を複数選択できるため、事業の種類の子付件数と実際の寄付総件数とずれが生じる。

2 基金運用状況

(単位：円)

区分	前年度末 現在高	決算年度中増減高			決算年度末 現在高 (※4)	備 考
		元金及び利息				
		積立金	支消金	差引		
道南うみ街 信用金庫	71,070,000円	56,972,000円	27,969,000円	29,003,000円	100,073,000円	うち利息(累計) 492,946円 うち一財(累計) 4,590円

※2

※3

(積立金累計残高を千円単位に調整するため、寄付金額56,964,052円と預金利息7,107円の合計額56,971,159円に一般財源841円を加算した額である56,972,000円を基金に積み立て。)

※1 寄付金残高101,181,464円=99,575,464(積立元金)+1,606,000円(基金積立後からR5.3.31までに入金があった額)

※2 R5.3.31までの基金の利息の累計額

※3 基金積立てにあたり、積立額を千円単位とするために加算した一般財源のR5.3.31までの累計額

※4 基金年度末残高100,073,000円=99,575,464円(積立元金)+492,946円(※2)+4,590円(※3)

## 調査特別委員会の調査報告

令和5年3月27日開催の令和4年度定例会3月第2回会議において設置した調査特別委員会から、次のとおり中間報告書の提出があったので、これを報告する。

令和5年6月21日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

### 記

#### 1 第6次福島町総合計画策定調査特別委員会

- ・調査事件 第6次福島町総合計画策定に関する調査について

福 議 特 委 号  
令和 5年 6月 15日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

第6次福島町総合計画策定調査特別委員会  
委員長 平野 隆雄

調査特別委員会中間調査報告書について

令和5年3月27日開催の令和4年度福島町議会定例会3月第2回会議において、本委員会に付託された事件の中間報告書を、福島町議会会議条例第50条第2項の規定により、別紙のとおり報告いたします。



# 調査特別委員会意見中間報告

## 調査事件 第6次福島町総合計画策定に関する調査について

町は、「まちづくり基本条例」において、条例の目的・目標に基づくまちづくりの具現化のため総合計画の策定を規定、町政運営を進めておりますが、現行の第5次福島町総合計画の計画期間が令和5年度で終了することから新たな第6次福島町総合計画の策定に向けた作業を進めている。

総合計画は、まちづくりの最上位の計画であり、議会としては、議会基本条例の目的に示されている「わかりやすく町民が参加する議会」、「しっかりと討議する議会」、「町民が実感できる政策を提言する議会」を実践する取り組みとして、集中的に調査・審議するため、特別委員会を設置したものであり、その経過について次のとおり報告する。

### 1. 開催状況・調査内容

#### (1) 第1回目 令和5年3月27日(月)

##### ①正・副委員長の互選

委員長 平野 隆雄、副委員長 川村 明雄

##### ②第6次福島町総合計画策定に係る今後のスケジュール等の確認と、意見交換を実施した。

#### (2) 第2回目 令和5年6月6日(火)

町から提出された第6次福島町総合計画の概要・序論から基本構想までの案、実施計画掲載基準の見直し等の関係資料に基づき、質疑・意見交換を行った。

## 2. 調査の論点と意見（中間報告）

### （1）第6次福島町総合計画基本構想（案）について

第6次総合計画策定にあたって示された委員会資料等を見てカタカナを使った用語を多用している感じを受ける。「サプライチェーン(物流)」や「ブラッシュアップ(磨きをかけて良くする)」等、町民が理解しづらい用語に関しては、用語の解説を追加する等の工夫が必要であると思慮するため検討願いたい。

また、町の施策分野とSDGs(持続可能な開発目標)との関連性について掲載することだが、掲載にあたっては、どういう手法で取り組んでいくかの目標設定等が必要となってくると思慮されるため、SDGsに関する職員の理解、町民への周知を徹底し、町で取り組む部分、町民が取り組む部分、協働で対応していく部分等について対応を連動させる仕組みを整理していくよう検討願いたい。

### （2）実施計画掲載事業の基準見直しについて

現行の総合計画実施計画に搭載する事業は「福島町総合計画の策定と運用に関する条例」にその要件を規定しているが、今回、町では第6次総合計画の策定に合わせて掲載基準の見直しを検討しており、理由を現行の基準では事業件数が多くなり、職員が減少している状況で負担が大きく、個々の事業に対する議論が深まらないとしている。

しかし、5次計の議会審議経過を振り返ってみても、提案されている見解について疑義を感じざるを得ない。総合計画の役割として町民との情報共有があり、掲載基準を緩和することで十分に情報が提供されなくなることが懸念され、また、これまで総合計画に搭載される事業は早い段階で常任委員会の調査を行い、事業の問題点等について議会の意見を提言してきたが、基準の緩和により議会が事業内容を把握するタイミングが遅くなり十分な議論が出来ないことが懸念される。

なお、理由にあげている過度な作業による職員の負担という部分については、掲載基準を見直し実施計画に搭載しなくても、予算計上のために算定根拠を含め担当職員が計画に係わらなければならない一連の事務経過であり、職員の職務軽減につながるかの判断は安易であると思慮する。

計画とは別問題と捉え、早急に人員の減少に対応した事務の効率化に取り組む必要があると思慮する。

### (3) 総括

本特別委員会として、計画策定のポイントと序論から基本構想の内容、今後のスケジュールについては一定の理解をしたが、今回示されたのは基本構想（案）であり、総合計画を構成する基本計画・実施計画については今後示される事になる。また、町が6次計の策定に合わせて示してきた実施計画掲載事業の基準見直しについては、見直しの内容を慎重に検討する必要があることから、当事件については継続審議とする。

以上、本特別委員会の中間報告とする。

## 休会中の所管事務調査の申し出

各常任委員会等から、休会中の所管事務調査等の通知があったので報告する。

令和5年6月21日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

常任委員会名	調査事件名
総務教育常任委員会	調査事件1 その他所管に関する事項について
経済福祉常任委員会	調査事件1 その他所管に関する事項について
広報広聴常任委員会	調査事件1 町内文化団体との懇談会について（総務教育部会） 調査事件2 町内農業団体との懇談会について（経済福祉部会） 調査事件3 町内スポーツ団体との懇談会について（総務教育部会） 調査事件4 その他所管に関する事項について
議会運営委員会	地方自治法第109条第3項に規定する事項  1 議会の運営に関する事項 2 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項 3 議長の諮問に関する事項

## 渡島廃棄物処理広域連合議会の報告

渡島廃棄物処理広域連合議会議員より5月26日開催の令和5年第1回臨時会の報告があったので、下記のとおり報告する。

令和5年6月21日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

記

### 令和5年第1回渡島廃棄物処理広域連合議会臨時会の 結果について (報告)

令和5年5月29日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

渡島廃棄物処理広域連合議会議員  
報告者 平野 隆雄

令和5年5月26日に開催された、令和5年第1回渡島廃棄物処理広域連合議会臨時会の結果を報告します。

#### 1 定例会の議案について

審議した議案は、正副議長選挙と議席の指定、副広域連合長・監査委員の選任の計5件でした。

#### 2 審議した議案の内容について

件 名	内 容
選挙第1号 議長の選挙について	白戸 昭司氏(北斗市)が広域連合議会議長に当選しました。
選挙第2号 副議長の選挙について	栃木 正則氏(北斗市)が広域連合議会副議長に当選しました。

<p>発議案第1号 議席の指定について</p> <p style="text-align: right;"><b>【指定済】</b></p>	<p>次のとおり議席を指定しました。</p> <p>7番 又地 信也（木古内町）  8番 新井田 昭雄（木古内町）  9番 上野 武彦（七飯町）  10番 川村 主税（七飯町）  13番 斉藤 優香（森町）  14番 千葉 圭一（森町）  17番 大谷 敏弥（長万部町）  18番 高橋 克英（長万部町）  19番 宮川 勇（北斗市）  20番 栃木 正則（北斗市）  21番 白戸 昭司（北斗市）</p>
<p>同意第1号 副広域連合長の選任につき同意を 求めること</p> <p style="text-align: right;"><b>【原案同意】</b></p>	<p>工藤 実氏（北斗市）の副広域連合長選任に同意 しました。</p>
<p>同意第2号 監査委員の選任につき同意を求め ること</p> <p style="text-align: right;"><b>【原案同意】</b></p>	<p>斉藤 勝氏（松前町）の監査委員選任に同意しま した。</p>

※議案・関係資料は、議会事務局に保管してありますので、ご参照ください。

## 議会の評価及び議員の自己評価等の報告

議会基本条例第17条（議会白書、議会・議員評価）に基づき、議会の評価及び議員の自己評価等を決定したので、これを報告する。

令和5年6月21日提出

福島町議会議長 溝部 幸基

### 記

- 令和4年度「議会の評価」
- 令和4年度「議員の自己評価」
- 令和5年度「議員活動の目標（公約）」

## 議会の評価・議員の自己評価の結果

### (1) 令和4年度分の「議会評価」結果

「議会活動評価要綱」に基づき、議会活動を主要10項目と具体的な40項目に区分し議員・議会の活動状況の基礎資料と、全国・全道の町村議会の実態や先進的な運営をしている議会などと比較検討し、議会運営委員会（4月28日決定）が評価し、諮問会議で内容を検討して町民に公表するものです。

昨年と比べ「文書質問」「各団体との懇談会」について一段落き下げ、「一般質問」「研修等への効率的な取組」について一段落き上げています。引き続き「町民が実感できる政策を提言する議会」を目指し、評価結果・諮問会議の意見を参考にしながら新たな課題を設定し、豊かな町づくりを目指して不断の努力を続けてまいります。

主要評価項目	具体的な項目	過去3年間の評価			R4 評価	摘 要
		R元	R2	R3		
1. 議会の 活性化	①一般質問 (人数・項目件数)	○	△	△	○	R4年度の一般質問件数は15人・16項目であり、人数・項目件数ともに昨年度と同数となっている。1定例会平均質問者数3.8人(41.6%) (全国6.2人(52.5%)、全道4.5人(41.3%)、渡島管内4.1人(33.6%))となっている。より積極的な一般質問への取組みが必要である。
	②質疑・意見交換	○	○	○	○	本会議、常任委員会、予算・決算審査特別委員会等での審議を活発に行っている。常任委員会所管事務調査数は31件(総務教育常任委12件、経済福祉常任委19件)となっている。引き続き質疑・意見交換内容を充実する。(平均質疑者・回数:定例3人6.3回、定例外1.0人1.9回、委員会3.6人15.6回)(平均意見交換者・回数:定例0.8人1.0回、定例外0.5人0.9回、委員会3.6人12.6回)
	③討議・討論 (本会議)	△	△	△	△	常任委員会所管調査、事前勉強会等の実施により本会議での討議・討論は少ないものとなっているが、引き続き「議員間討議要綱」に基づき、論点・争点を明らかにした討議・討論への取組みが必要である。 (R3=0件、R4=0件)
	④討議(委員会)	○	○	○	○	各種委員会において質疑・意見交換で出された内容を論点整理した項目に沿って活発な議員間討議を行っている。 (R4開催日数:常任委員会=20日、特別委員会=7日)
	⑤議員提案	○	○	○	○	所管事務調査結果を行政側に手交することで議会の考えが政策等に反映されている。一般質問項目、「町民と議員懇談会」意見についても常任委員会で検討したが、所管調査として取組む事案はなかった。
	⑥文書質問	△	△	△	▲	R4年度の実績はなかった。これまでも質問が特定の議員に偏っており、項目数も低下傾向が続いていることから、政策提案等に向けた文書質問への取組みが必要である。(R2=実1人、4項目 R3=実1人、2項目 R4=0人)
2. 議会の 公開度	①会議の公開	○	○	○	○	本年度は100%公開し、委員会もライブ中継・録画配信を行っている。
	②審議記録の公開	○	○	○	○	ホームページで全て公開している。
	③審議前の会議資料 公開	○	○	○	○	基本的に全て公開している。(議場・ホームページ)
	④議会経費の公開	○	○	○	○	決算内容を含め、交際費・政務活動費などの詳細も全て議会だより・HPで公開している。
	⑤視察報告の公開	○	○	○	○	本会議・ホームページで公開している。
	⑥全員協議会の公開	○	○	○	○	ライブ中継・録画配信を行っている。
	⑦会議公開の充実 (ライブ中継)	○	○	○	○	適宜、配信機器の更新を実施し、鮮明な映像配信を行っている。町民要望に応え、スマートフォンでの視聴も可能(R元からライブも視聴可能)となっている。全道=85議会(議会中継実施)
3. 議会の 報告度	①議会だより・速報版 等の発行	○	○	○	○	議論状況や内容をより分かりやすくまとめ、質疑等の掲載も充実させた。H28.6月発行分からは文字サイズを拡大している。 全道=単独発行125議会
	②議会ホームページ の運用	○	○	○	○	H28年3月より議会ホームページをリニューアルしている。引き続き、迅速な公開に努める。全道HP=131議会
4. 住 民 参加度	①各団体との懇談会の開 催(常任委員会の活動)	△	△	○	△	R4年度は開催実績なし。テーマと開催方法(住民主催等)を工夫した取組みが必要である。 [懇談会:R2=0回、R3=9回、R4=0回]
	②町民と議員との 懇談会の開催	○	○	○	○	R4も議員を3班に分け町内会単位で実施した。引き続き懇談内容充実への取組みが必要である。前回開催時にコロナ感染症関連で延期となった地区についてもR4.5月に実施した。(R3延期分=4日間・11会場46人、R4=6日間・17会場86人)全道=39議会
	③参画者への対応と 参加度	○	△	△	△	参画者にも同様の資料を用意している。討議への参画が課題である。 (R3=定例10人、平均2.5人 定例外3人、平均0.8人) (R4=定例15人、平均3.8人 定例外3人、平均0.4人) (全道平均=定例7.4人、定例外1.0人)
	④休日・夜間議会の 開催	○	○	○	○	H19から夜間議会(定例)を開催している。 (参画者R3=4人、R4=6人)全道=夜間2議会、休日5議会



主要評価項目	具体的な項目	過去3年間の評価			R4 評価	摘 要
		R元	R2	R3		
5. 議会の民主度	①一般質問の改善（一問一答方式、回数・時間制限廃止）	○	○	○	○	一問一答方式を実施している（H12）。質問回数・時間の制限規定を廃止している（H20）。 全道=118 議会（一問一答方式採用）
	②説明員との対面方式	○	○	○	○	庁舎建設時から実施している（H6）。 全道=132 議会
	③一般質問の答弁書配付	○	○	○	○	実施済み（H13.9）。質問に関する確な（漏れや補足答弁を必要としない）通告書、答弁書となるよう改善に努めている。
	④議会における選挙の改善（正副議長選挙での所信表明）	△	△	○	○	正副議長選出の際の所信表明を福島町議会基本条例（H20）で規定している。
6. 議会の監視度	①長との適正な関係の維持（委員の政治倫理に関する取り組みの経過）	○	○	○	○	議会議員の不当要求行為等を防止する条例を制定（H20）、条例内容を拡充した議会議員政治倫理条例を制定（H30）、町長との適正な緊張関係を維持している。
	②全員協議会の適切な運用	○	○	○	○	事前協議となるような執行者からの要請による開催はしない。
	③議会機能（けん制・批判・監視等）の適切な遂行	○	○	○	○	定例会毎に議会運営等に係る反省点等を文書にまとめ、行政側に手交し説明している。常任委員会所管事務調査で取りまとめた調査意見（報告書）を行政側に手交し説明、意見交換することで委員会の意向が政策に反映されている。
	④一般質問等答弁事項の追跡調査	○	○	○	○	本会議、予算・決算審査特別委員会での一般質問等に対する町長、副町長、教育長の答弁内容に一定の指定事項を設け、追跡調査を行っている。（追跡調査件数 R2=1件、R3=4件、R4=1件）
7. 議会の専門度	①所管事務調査の充実強化	○	○	○	○	常任委員会の所管事務調査は論点・争点を整理し委員間で討議し意見をまとめている。委員会の意見が政策に反映されるよう、調査意見（報告書）を行政側に手交し説明、意見交換している。〔調査件数 R3=24件、R4=31件〕
	②政策立案・審議能力の向上強化	○	○	○	○	各常任委員会所管事務調査において、条例の制定・改正、事業計画等の案件について、議会として町民の利益になるような修正意見を提言している。 ・町民プール屋根改修工事 ・学校給食の地元食材活用 ・有害鳥獣残滓減量化施設の整備 ・町内除雪支援体制の整備 ・家庭ごみ減量化対策等 令和3年度決算に基づき67件（総務教育常任委関連39件、経済福祉常任委関係28件）の事業について行政評価をした。
	③議決権範囲の拡大	○	○	○	○	町の主要計画を議決対象としたことで、各計画が広く認識され内容の充実に繋がっている。継続的に見直しを行っており現在の議決対象計画等は13件となっている。（令和4年度は新たに追加・削除した議決対象計画等はなし。）
8. 事務局の充実度	①議場等の整備充実	○	○	○	○	議場映像設備（R元）、議場等音響設備（H28）の更新を行うなど、設備の適正管理により映像配信等の精度向上が図られている。タブレット端末の導入（R3）により議案等のペーパーレス化も図られている。
	②事務局の充実強化	○	○	○	○	情報公開の迅速化、情報・資料収集の充実、法務能力の向上などに取り組んでいる。職員体制は正職員3人、会計年度任用職員1人で充実している
9. 適正な議会機能	①法規定以外の執行部付属機関への委員就任廃止	○	○	○	○	法定となっている、都市計画審議会のみ就任している。
	②適正な議会経費	○	○	○	○	諮問会議の答申を踏まえ、適正な議会活動費の基準となる標準額を決定、平成30年度に見直している。令和4年度からはペーパーレス会議システムに係る費用が追加された。（当初標準額=3,184千円・H30見直し標準額=4,355千円、R4予算 5,549千円）
	③議会の自主性強化	○	○	○	○	「議会基本条例見直し検討による行動計画」に基づき課題に取り組んでいる。平成21年度より年度を会期（期間）とした「通年議会」を実施している。議会基本条例等の検証と実績の反映を期し、平成30年度に全体的にわかりやすく改正、新たに2条例・7要綱を制定（議会参画条例・政治倫理条例等）
	④議会付属機関の設置（議会基本条例諮問会議）	○	○	○	○	議会基本条例諮問会議を設置し毎年度数項目を諮問し、それぞれ答申を受け議会活動に反映している。諮問会議条例の改正（R4.1）；諮問委員数を5名から10名に増員。（産業・文化・スポーツ団体等の推薦、公募）
	⑤系統議長会の体制整備	○	○	○	○	道議長会に対し、町村議会が利用しやすいホームページへの見直しを要望している。（資料提供、道内の町村議会へのリンク等）
	⑥条例の制定・改正	△	△	○	○	・福島町議会個人情報保護条例の制定（3月会議） 議会における個人情報を保護するため議会独自の個人情報保護条例を制定
10. 研修活動の充実強化	①研修の効率的な取り組み	○	△	△	○	本会議等の事前勉強会を実施し議案等の要点や問題点を確認している。議員研修会の報告をし情報共有を図っている。R4年度は新型コロナウイルスの感染拡大も落ち着きを見せ始めた10月に、経済福祉常任委員会委員を中心に政務活動費を活用して福島県富岡町の有害鳥獣処理施設への視察研修を行った。
	②視察受入れ市町村等	△	△	○	○	R4年度に受け入れた視察の数は5件となっており、うち議会改革等に関する視察を道内栗山町、愛媛県愛南町、群馬県桐生市から、アワビ陸上養殖事業への視察を道内様似町から、友好町交流事業への視察を長崎県松浦市から受入れました。（R2=1件、R3=0件、R4=5件）

## 議会評価に対する 諮問会議の意見

### 議会評価に対する諮問会議意見

◎議会運営委員会による議会評価は適切である。  
各種団体との懇談会については、議会から各団体へ声掛けをし積極的に開催されるよう望む。

## (2) 令和4年度分の「議員の自己評価」結果

□自己評価は次の指針により実施しています。

平成17年から始めた議員の自己評価は、今回で18回目となります。右表の5主要指針に基づいて具体的に取り組んだ事項を3段階で自己評価したものです。

集計の結果、「取組の評価」については、項目全体の168項目中、「○ほぼ満足」が83件で49%、「△努力が必要」が77件で46%、「▲さらに努力が必要」が8件で5%となりました。

次に、「成果の評価」については、項目全体の168項目中、「○ほぼ満足」が46件で27%、「△努力が必要」が84件で50%、「▲さらに努力が必要」が38件で23%となりました。

取組の評価では「○ほぼ満足」が49%ですが、成果の評価では27%と大きく差があります。

今後も各議員の取り組みが今まで以上に成果として反映されるように努力する必要があります。

議員個人としての活動については、2名の議員から報告がありました。

主要指針	評価の指針等
1. 態度評価	町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度（居眠り、私語など）、審議の態度（品位の保持、審議への協力）
2. 監視評価	一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで行政執行をチェックしたか。
3. 政策提言評価	町民の意向を政策に反映させるため、行政への一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで政策提言をしたか。
4. 政策実現評価	一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで指摘した事項が改善されたか。政策提言した事項が実現したか。
5. 自治活動・議会改革取組み評価	議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度はどうか。町民ニーズの把握はどうか。

## ○議員別の評価集計

議員名	佐藤孝男		平沼昌平		木村 隆		川村明雄		杉村志朗	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	12	9	12	7	10	9	11	3	10	5
△ 努力が必要	2	5	5	8	5	5	8	16	1	1
▲ さらに努力が必要	0	0	0	2	0	1	2	2	2	7
計	14	14	17	17	15	15	21	21	13	13

議員名	藤山 大		小鹿昭義		平野隆雄		溝部幸基		合 計	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	13	7	3	0	2	1	10	5	83	46
△ 努力が必要	9	13	10	13	15	10	22	13	77	84
▲ さらに努力が必要	0	2	0	0	1	7	3	17	8	38
計	22	22	13	13	18	18	35	35	168	168

〔分野別の評価種類は、次のとおり省略しています。「取組」＝取組の評価 「結果」＝結果の評価〕

## ○議員個人としての活動

	藤山 大	溝部幸基
報告会等の実施	—	1
議員だよりの発行	—	—
個人ホームページの開設	—	○
その他	○	—

## ●議員活動の目標（公約）

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標（公約）として、平成19年から公表しています。本年度は、9名の議員で総数137項目（昨年度：9名提出 161項目）となりました。

## 「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」  
 評価期間：令和4年4月～令和5年3月

佐藤 孝男 76歳

経済福祉常任委員長、議会運営委員、  
 渡島西部広域事務組合議会議員

議員歴 28年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	若者の定住と雇用の場の推進	△	△
	大型公共施設に向けての提言（吉岡温泉ゆとらぎ館、種苗センター）	○	○
財政	財政健全化の推進	○	○
経済	一次産業の振興と新規就業者の育成	○	△
	ほだ木確保のため町有林調査、作業路の整備	○	△
福祉	町立診療所の健全運営	○	○
	予防医療の推進	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
教育	学校給食での地場作物利用強化	○	○
	食育の取組み推進	○	△
	体験学習の推進	△	△
その他	町民との懇談、各産業団体との懇談を通して議会活動に役立てる	○	○
	各種行事の積極的な参加	○	○
	第2青函トンネルの実現に向けての推進	○	○
	松前半島道路の早期実現に向けた推進	○	○

平 沼 昌 平 67歳

議会運営委員長、経済福祉常任委員、  
 渡島廃棄物処理広域連合議会議員

議員歴 18年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想実現に向けた町内外に対する活動	○	○
	IT環境の整備促進と移住者を呼び込む定住環境の整備促進	○	▲
	防災対策と危機管理の提言	○	○
財政	財政健全化に向けた効率的な財政運営に対する提言	○	△
	有利な財源を使った町内経済の活性化等の提言	○	△
	人口減少に対する積極的な財政支援と効率的な事業支援の提言	○	△
経済	農林水産業の担い手対策と町内雇用の創出（地元企業の雇用環境の充実を含む）	△	△
	地場製品の開発と研究・異業種とのマッチングを進める人材・団体の助成	△	△
	地場製品の地産地消に向けた自律循環システムの構築に対する提言	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
福祉	新型コロナウイルスに対する感染対策とウィズコロナの対応に向けた取組の提言	○	○
	高齢化人口に対する福祉環境の充実と施設環境の整備に向けた提言	○	○
	健康福祉の向上と医療費抑制に対する提言（がん検診の向上）	○	▲
教育	ゆとりのある子育て環境の充実と英語教育の充実	△	△
	小中高一貫教育の在り方とIT教育の充実	△	△
その他	議会議員の魅力化と町民参画型議会活動の充実（議員のなり手不足対応に向けて）	○	○
	松前・福島間の現国道に対する防災対応の迂回道路建設に向けた提言	○	○
	鳥獣駆除に対する環境整備と担い手確保に向けた提言	○	○

**木村 隆 43歳**

総務教育常任委員 議員歴 16年

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	防災無線の役割の検証	△	△
	産学官の新たな展開、可能性を探求	○	△
	第2青函トンネルの活動推進	○	△
財政	大型公共事業に伴う財源の確保	○	○
	コロナ交付税を利用した景気循環政策	○	○
	ウッドショック、円安など物価上昇に伴う対策	△	○
経済	吉岡漁港整備と漁獲向上対策	△	△
	木材チップ等林業政策の充実	○	○

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
福祉	介護従事者の作業効率を上げる仕組み作り	△	△
	国保税統一化に伴う影響を注視	○	○
	ゴミ減量化施策	△	○
教育	コロナ禍における学校教育の充実	○	○
	高校の町外生徒受け入れ対策	○	○
	プログラミング教育講座の再考	○	▲
その他	子育て環境の充実	○	○

**川村 明雄 77歳**

総務教育常任委員長、議会運営委員 議員歴 15年

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	ゼロカーボン対策の推進	▲	▲
	第二青函トンネル構想の推進	△	△
	道の駅構想への考察提言	△	△
財政	各基金の有効活用	△	△
	町内経済活性化対策	○	△
	特別職の財政負担考察	△	△
経済	陸上養殖アワビ生産拡大対策	○	△
	寄付された森林等の活用施策と林産業の開発促進	○	△
	地場産品の開発、ブランド化対策	△	△
福祉	障害者の雇用促進	○	△
	シルバー人材センターの考察	○	△

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
福祉	がん検診受診率向上対策	○	△
教育	福島高校の魅力開発対策	○	○
	教員の働き方対策	△	△
	小中高一貫教育の考察	△	△
その他	町民要望に対する即時対応	○	○
	若年層の文化活動の推進	○	○
	今冬の降雪被害建物の解体	△	△
	ウクライナ国民難民受け入れ計画	▲	▲
	町内公衆トイレの美化対策	○	△
	中古住宅利活用対策の考察	○	△

**杉村 志朗 74**

総務教育常任委員、渡島西部広域事務組合議会議員 議員歴 24年

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想の早期実現の推進	○	○
	景観が損なわれる空き家住宅の調査	○	▲
	安定的定住対策の推進	○	△
財政	コロナウイルス後による町内景気の回復	○	▲
	町内診療所の経営黒字化の実現努力	△	▲
経済	町内スポーツ施設利用者増に期待	○	▲
	養殖アワビ飼育の安定営業	○	○

分野	具 体 的 な 項 目	評 価	
		取組	成果
福祉	少子化対策と高齢者医療の充実	○	○
	社会福祉協議会の健全経営	○	○
教育	地元、小・中学生徒のスポーツ活動の支援	○	○
	福島商業高校における募集成果に期待	○	▲
その他	桧倉地区の水田跡地の活用	▲	▲
	運転免許証返納者への対応	▲	▲

藤山 大 48歳

経済福祉常任副委員長 議員歴10年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想推進	○	○
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言	△	△
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進	○	△
財政	優先順位を持った財政運営の推進	○	○
	町立診療所運営健全経営推進	△	▲
経済	一次産業のさらなる発展への提言	△	△
	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言	○	○
	農業者へのやさしい対応と後継者育成	△	△
	新型コロナウイルス感染症対策（人的支援・町内経済支援）	○	△
	B級グルメ等福島町の良さのPR強化	○	○
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
教育	福島商業高等学校存続対策	○	△
	今後の小学校のあり方（福島小学校と吉岡小学校の統合）	△	△
	文化・伝統を後世に残すための取り組み（四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）	△	△
	豪雪・暴風（災害）による休校時のzoomを活用した自宅授業を提言	○	△
その他	今後の「道の駅」のあり方	△	▲
	各種行事への積極的な参加	○	○
	各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言	△	△
	松前半島高規格道路整備の推進	○	△
	観光客を増やすためのPR（岩部クルーズ・両記念館等）	○	○
	インターネットを使つての報告（YouTube、Twitter、Zoom）	○	○
	吉岡温泉の予算を含めたチェック	○	△

小鹿 昭義 70

経済福祉常任委員、議会運営委員 議員歴3年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	一人ひとりが輝く、みんなが主人公のまちづくりへの提言	△	△
	第2青函トンネルの構想実現	○	△
	新しい風を吹き込み、安全安心で町民と共に、未来に向かうまちづくりへの提言	△	△
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進、町関係施設の黒字化を提言	△	△
	経費全体についての見直しを行い、予算編成の見直しを提言	△	△
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業の振興の推進	△	△
	自然、文化、歴史など、まちの特性を活かした広域観光事業の推進	△	△
	新卒者や求職者のための雇用の場を確保するため企業誘致の推進を提言	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進	△	△
	子どもたちの社会教育の充実を目的に、お年寄りとの交流機会を推進	△	△
教育	低学年向けにネイティブでやさしい英会話教育の場を提言	△	△
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進	△	△
その他	町民の目線に立ち、町議、町職員と共に、話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を見極め、課題に取り組む	○	△

平野隆雄 74歳

副議長、広報・広聴常任委員会委員長、総務教育常任委員会副委員長、議員歴27年  
経済福祉常任委員会委員、渡島廃棄物処理広域連合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	第2青函トンネル構想推進の実現へ	△	△
	町内景気の活性化推進で交流人口増	△	△
	福島川改修事業の早期実現	○	△
財政	財政調整基金の活用	△	△
	町立診療所運営の健全経営実現	△	△
	各町内会館の再編推進	△	△
経済	養殖コンブ製品増の推進	△	△
	スルメ加工以外の商品開発推進	△	▲
	アワビカレー更なる生産増	△	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
福祉	超高齢化と超人口減少に対する町づくりの提言	△	▲
	吉岡温泉ゆとらぎ館新築の早期実現へ	△	△
	がん検診の検診率向上推進	△	▲
教育	少子化の中の教育行政推進	△	△
	学芸員配置で縄文土器等による町づくりで交流人口増	△	▲
	青少年交流センター建設の推進	○	○
その他	学校等における相撲人口増で横綱の里推進	△	▲
	岩部海岸クルーズ中心の交流人口の活性化推進	△	△
	木古内、知内、福島、松前に高規格道路整備の推進	▲	▲

溝部幸基 75歳

議長、総務教育・経済福祉常任委員会委員、議員歴42年  
渡島西部広域事務組合議会議長

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進	△	△
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査	△	▲
	「公契約条例」に関する調査研修	△	▲
	行政サービスの効率的な運営への提言(外部委託等)	△	▲
	防災対策の提言(災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修)	△	△
	過疎自治体における政策推進のあり方	△	▲
	浄化槽(下水道整備)の普及推進	▲	▲
	第2青函トンネル構想実現に向けた活動推進	○	△
財政	財政健全化への取組(予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用)	△	△
	退職手当制度の抜本的改善	▲	▲
	各団体等への補助金、事業助成金等の在り方	△	△
経済	仕事の創出(起業)に挑戦できる支援システムの創設	△	△
	異業種連携による「福島ブランド」の開発	△	▲
	地場産品の6次産業化に関する調査研修	△	▲
	産業団体と課題に取り組む産業公的仕組みづくりの調査研修	△	▲
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修	△	▲
	鳥獣捕獲処理に関する調査研修(施設建設関連)	○	○
	制度融資の貸し剥がしに関する調査研究	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	成果
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査	△	▲
	「健康な町づくり」(全町的取組み)で医療費の節減	△	▲
	公立診療所の在り方に関する調査研修	△	▲
	在宅介護支援体制の整備(社会福祉協議会の役割)	△	▲
	家庭ごみ等減量対策の具現化に向けた調査研修	○	△
教育	小中一貫教育、コミュニティー学校の調査	▲	▲
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査	△	△
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み(情報収集・研修)	△	▲
その他	「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動の推進	△	▲
	食育・地産地消の推進(「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修)	△	△
	わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現(議会基本条例の周知)	○	△
	活発な討議(討論)ができる議会の実現	○	△
	政策的な提案のできる議会の実現	○	△
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	○	○
	視察の積極的な受け入れ(栗山町、愛媛県愛南町、群馬県桐生市、長崎県松浦市、様似町)	○	○
ホームページの充実(提案、情報発信、参加型)	△	△	
各種行事への積極的な参加	○	○	

### (3) 令和5年度の「議員活動の目標」(公約)

#### 議員活動の目標(公約)(個人票)

目標期間：令和5年4月～令和5年8月

#### 〔 佐藤孝男 〕

分野	具体的な目標項目
行政	若者の定住と雇用の場の推進
	大型公共施設(吉岡温泉、種苗センター)の健全な運営を注視
財政	財政調整基金の健全な運用
経済	陸上養殖アワビの生産拡大
	一次産業の振興と新規就業者の育成
	ほだ木の確保のため町有林調査と作業路の整備

分野	具体的な目標項目
福祉	町立診療所の健全経営
	予防医療の推進
教育	学校給食での地場産物利用強化
	食育の取組み、体験学習の推進
	高校の町外からの受け入れ強化
その他	第2青函トンネルの実現に向けての推進
	松前半島道路(防災道路)の推進
	各種行事の積極的参加

#### 〔 平沼昌平 〕

分野	具体的な目標項目
行政	IT環境の整備促進と移住者を呼び込む定住環境の整備促進
	第2青函トンネル構想実現に向けた町内外に対する活動
	防災対策の対応(避難路確保、避難備蓄庫等)と危機管理の熟成を提言
財政	人口減少に対する積極的な財政支援と効率的な事業支援の提言
	子育て環境整備と出生率向上に向けた財政支援策について提言
経済	農林水産業の担い手対策と地元企業の雇用環境の充実

分野	具体的な目標項目
経済	移住促進に向けた対応と地元町民の理解による協力体制への提言
	高齢者再雇用に向けた町内企業への率先した財政支援
福祉	ウィズコロナの対応に向けた生活環境の取組の提言
	高齢化人口に対する福祉環境の充実と施設環境の整備に向けた提言
教育	道立福島商業高校存続のための生徒確保に向けた取組と提言
	小・中・高一貫校に向けた町独自の教育体系
その他	議会議員の魅力化と議会活動の見える化に向けた取組
	女性議員・若手議員等、なり手確保のための議会改革

#### 〔 木村隆 〕

分野	具体的な目標項目
行政	総合計画6次への提案、提言
	当町の脱炭素政策の具体的な方向性
財政	大型公共施設完成後の財政運営の注視
経済	コロナ5類移行後の経済循環政策
	昆布養殖作業効率向上政策

分野	具体的な目標項目
教育	義務教育予算の確保(教科担任制など)
	高校入学生徒のPR
その他	松前半島道路(防災道路)計画の遂行
	第二青函トンネルの機運向上政策

#### 〔 川村明雄 〕

分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネル構想の推進
財政	各基金の有効活用対策
	特別職の財政負担の考察
経済	森林林業、林産業の活性化対策の推進
	陸上養殖アワビの生産拡大対策

分野	具体的な目標項目
福祉	シルバー人材センターの考察
教育	福島商業高校の安定的な入学生確保対策
	教員の働き方対策の推進
その他	中古住宅の現況、維持等、短信対策

## 〔杉村志朗〕

分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネル構想の活動推進
	防災危機管理の訓練
財政	各町内会館の推進
	無理のない基金の活用

分野	具体的な目標項目
経済	スルメ加工者の高齢化対策
福祉	町立診療所に対する調査 高齢者対策に関する調査
教育	次年度の高校入学定員の増に期待

## 〔藤山大〕

分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネル構想推進
	若者の定住・少子化対策と高齢者にやさしい町づくりの政策提言
	危険と思われる町道整備と防災のスピーディーな対策の推進
財政	優先順位を持った財政運営の推進
	町立診療所運営健全経営推進
経済	一次産業のさらなる発展への提言
	漁業者へのやさしい対応と漁獲量につながる新たな提言
	農業者へのやさしい対応と後継者育成
	新型コロナ感染症対策（人的支援・町内経済支援） B級グルメ等、福島町の良さをPR強化

分野	具体的な目標項目
福祉	町民が安心安全な町づくりとサポート体制
教育	福島商業高等学校存続対策
	文化・伝統を後世に残すための取り組み （四ヶ散米行列、奴行列、荒馬、七福神等）
その他	今後の「道の駅」のあり方
	各種行事への積極的な参加
	各種団体と協力し、経済効果に繋がる集客力が期待できるイベントへ発展させるための提言
	松前半島高規格道路整備の推進
	観光客を増やすためのPR（岩部クルーズ・両記念館等） インターネットを使つての報告（YouTube、Twitter、Zoom）

## 〔小鹿昭義〕

分野	具体的な目標項目
行政	一人ひとりが輝く、みんなが主人公のまちづくりへの提言
	第2青函トンネルの構想実現
	新しい風を吹き込み、安全安心で安定したまちを構築し、町民と共に未来に向かうまちづくりへの提言
財政	財政歳入歳出の更なる透明化の向上を図り、健全な町運営を推進、町関係施設の黒字化を提言
経済	農業、漁業、水産、林業、商工業、観光などの地場産業の振興の推進
	物価高による町民に対する経済面の支援を提言 新卒者や求職者のための雇用の場を確保するため企業誘致の推進を提言

分野	具体的な目標項目
福祉	お年寄りや身体の不自由な方の要望に応じていく仕組みの確立化を推進
	お年寄りを助成する施設や、民間企業への支援を推進
教育	小・中学生のパソコンを使ったプログラミングなど、資格取得へ向けた学習の提言
	家庭、学校、社会が連携した町民主体の文化、スポーツ活動を支援し、自ら学ぶ意欲と個性を伸ばしていく教育を推進
その他	町民の目線に立ち、町議、町職員と共に、話し合い、「町民のためになるのか。ならないのか。」を見極め、課題に取り組む



## 〔 平野 隆雄 〕

分野	具体的な目標項目
行政	第2青函トンネル構想の早期実現推進
	町内景気活性化推進で交流人口増
	福島川改修事業の早期実現
財政	財政調整基金の有効活用
	コロナ後の町立診療所運営の健全経営
	町内会にあった新しい町内会館へ
経済	養殖コンブ製品増の推進
	蝦夷アワビ（養殖）生産増へ
	スルメ以外の商品開発推進

分野	具体的な目標項目
福祉	高齢化と人口減少に対する町づくりの提言
	吉岡温泉ゆとらぎ館早期開業へ
	がん検診の検診率向上推進
教育	少子化の中の教育行政推進
	福島商業高等学校入学増の推進
	青少年交流センターで生徒と町民の交流推進
その他	福島（吉岡）、松前（荒谷）新ルート防災道路の推進
	岩部海岸クルーズによる交流人口の活性化推進
	両記念館、伊能忠敬公園の観光客に向けたPRを推進

## 〔 溝部 幸基 〕

分野	具体的な目標項目
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（各種計画に関する提言・検証）
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査
	行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等）
	防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修）
	過疎自治体における政策推進のあり方
	浄化槽（下水道整備）の普及推進
	第2青函トンネル構想実現に向けた活動推進
	ハラスメント条例の制定に向けた調査研究
財政	財政健全化への取組（予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用）
	退職手当制度の抜本的改善
	各団体等への補助金、事業助成金等の在り方
経済	仕事の創出(起業)に挑戦できる支援システムの創設
	異業種連携による「福島ブランド」の開発（ブランド化システムの再検討）
	地場産品の6次産業化に関する調査研修
	産業団体と課題に取り組む産業公社の仕組みづくりの調査
	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修

分野	具体的な目標項目
福祉	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査
	「健康な町づくり」（全町的な取組み）で医療費の節減
	公立診療所の在り方に関する調査研修
	在宅介護支援体制の整備（社会福祉協議会の役割）
	労働者協同組合に関する調査（活動事例、行政連携）
教育	家庭ごみ等減量対策の具現化に向けた調査研修
	小中学校一貫教育、コミュニティースクールの調査研修
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み(情報収集)
その他	「自分(達)ですべき事は自分(達)でする」主体性をもった自治活動の推進
	食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修）
	わかりやすく、町民が参画出来る議会の実現（議会基本条例の周知）
	活発な討議(討論)ができる議会の実現
	政策的な提案のできる議会の実現
	幅広い情報収集、積極的な研修参加
	視察の積極的な受け入れ
ホームページの充実(提案、情報発信、参加型)	
各種行事への積極的な参加	